

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公表番号】特表 2012-501276 (P2012-501276A)

【公表日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【年通号数】公開・登録公報 2012-003

【出願番号】特願 2011-525525 (P2011-525525)

【国際特許分類】

B 6 0 C 9/18 (2006.01)

B 6 0 C 9/22 (2006.01)

B 6 0 C 9/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 9/18 K

B 6 0 C 9/18 G

B 6 0 C 9/18 Q

B 6 0 C 9/22 B

B 6 0 C 9/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

半径方向カーカス補強材を備えたタイヤであって、前記半径方向カーカス補強材が、周方向と $10^{\circ} \sim 45^{\circ}$ の角度をなした状態で一方のプライから他方のプライにクロス掛けされた非伸長性補強要素の少なくとも 2 つの作用クラウン層で形成されたクラウン補強材を有し、前記クラウン補強材それ自体がトレッドストリップによって半径方向に覆われており、前記トレッドストリップが 2 つのサイドウォールによって 2 つのビードに連結されているタイヤにおいて、

前記タイヤは、各ショルダ内に、一方の層から他方の層に延びる連続補強要素から成る 2 つの層で形成された複合ストリップの周方向巻回によって形成された少なくとも 2 つの層を更に有し、前記補強要素は、一つの層中で互いに平行であり、前記補強要素は、前記周方向に対して絶対値で同一の角度をなして一方の層から他方の層にクロス掛けされ、前記追加の複合ストリップは、作用クラウン層の縁部に半径方向に隣接して位置し、前記追加の複合ストリップの軸方向外側端は、前記追加の複合ストリップに隣接して位置する前記作用層の端を前記平面から隔てる距離に少なくとも等しいタイヤの赤道面からの距離のところに位置している、

ことを特徴とするタイヤ。

【請求項 2】

複合ストリップを形成するクラウン層の各々のそれぞれの補強要素相互間の半径方向距離は、クラウン層の厚さよりも短く、好ましくは、クラウン層の厚さの半分よりも短い、

請求項 1 記載のタイヤ。

【請求項 3】

前記複合ストリップの補強要素は、周方向と $10^{\circ} \sim 45^{\circ}$ の角度をなす、

請求項 1 又は 2 記載のタイヤ。

【請求項 4】

前記複合ストリップは、好ましくは前記複合ストリップの幅の少なくとも半分に等しい軸方向オーバーラップ状態で周方向に巻回される、

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 5】

前記複合ストリップは、並置ターンを形成するように周方向に巻回される、

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 6】

前記複合ストリップの前記補強要素は、金属で作られている、

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 7】

前記複合ストリップの前記補強要素は、0.7% 伸び率における割線モジュラスが 10 GPa ~ 120 GPa、最大接線モジュラスが 150 GPa 未満の金属補強要素である、
請求項 6 記載のタイヤ。

【請求項 8】

前記複合ストリップの前記補強要素は、繊維材料で作られている、

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 9】

前記複合ストリップの前記補強要素は、ハイブリッド材料で作られている、

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 10】

前記追加の複合ストリップは、前記半径方向外側の作用クラウン層の前記縁部に半径方向に隣接して位置している、

請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 11】

前記追加の複合ストリップは、前記半径方向外側の作用クラウン層の前記縁部の半径方向外側に位置している、

請求項 10 記載のタイヤ。